

全国月間火山概況（平成 26 年 12 月）

御嶽山では、火山活動には低下傾向がみられるものの、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。また、噴気活動や地震活動等が活発化する場合には、火口周辺に大きな噴石を飛散させ、火砕流を伴うような噴火となる可能性があります。火口から 4 km 程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。

桜島では、爆発的噴火が発生するなど活発な噴火活動が継続しました。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

口永良部島では噴火は発生しませんでした。引き続き、火山活動は高まった状態で経過しており、新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。

西之島では、噴火及び溶岩の流出が継続し新たに形成された陸地の拡大が確認されています。西之島の中心から概ね 6 km 以内の範囲では噴火に警戒してください。

十勝岳では、7 月頃から、62-2 火口に近い観測点で山体浅部の膨張を示すと考えられる地殻変動の変化率が大きくなっています。このため、ごく小規模な噴火の発生する可能性が高まっていると判断し、16 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）に引き上げました。

吾妻山では、12 日に継続時間が約 35 分の火山性微動が発生しました。今後、小規模な噴火が発生する可能性があるとして判断し、12 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）に引き上げました。

草津白根山では、湯釜付近の膨張を示す地殻変動が認められるほか、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられています。湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

阿蘇山では、中岳第一火口で 11 月 25 日から噴火活動が活発になり、断続的に噴火が発生しました。中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（新燃岳）では、北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられます。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、火山性地震が時々発生しています。えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

諏訪之瀬島では、噴火が時々発生しました。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

蔵王山では、19 日と 29 日に火山性微動が 1 回ずつ発生しました。登山等で火口に近づく際には十分注意してください。

1 月 13 日現在の各火山の火山現象に関する警報及び予報の発表状況は表 1 のとおりです。

表 1 1 月 13 日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	御嶽山、桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル 2（火口周辺規制）	十勝岳、吾妻山、草津白根山、三宅島、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄山※、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、安達太良山、磐梯山、那須岳、浅間山、新潟焼山、焼岳、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄山
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌブリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペリネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄山島、西表島北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田前山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、警報・予報事項に変更はありません。

十勝岳[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

←12月16日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1(平常)から2(火口周辺規制)に引上げ

十勝岳では、ここ数年、山体浅部の膨張や大正火口の噴煙量増加および地震増加、火山性微動の発生、発光現象などが観測されており、火山活動が徐々に高まっています。

2014年7月頃から、62-2火口に近い観測点で山体浅部の膨張を示すと考えられる地殻変動の変化率が大きくなっており、膨張がさらに浅い領域にまで及んでいる可能性があります。

このため、今後、ごく小規模な噴火の発生する可能性が高まっていると判断し、16日14時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1(平常)から2(火口周辺規制)に引き上げました。

62-2火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。62-2火口から概ね1kmの外側であっても、風下側では火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

蔵王山[噴火予報(平常)]

19日と29日に火山性微動が1回ずつ発生しました。19日04時38分頃に発生した微動は、継続時間は約1分20秒と短いものの、2010年9月の観測開始以降では2番目に振幅が大きなものでした。29日10時26分頃に発生した微動は、振幅は小さく、継続時間は短いものでした。火山性地震は18回と、概ね少ない状況で経過しました。

坊平観測点(山頂の南西約5km)の傾斜計では、19日04時38分頃の火山性微動に先行して明瞭な南東(山頂の南側)上がりの変化が始まり、同日の昼頃にかけて継続しました。その後、わずかな東(山頂のやや南側)上がり変化となり、次第に緩やかになりながら継続しています。29日10時26分頃発生した火山性微動でも、先行して南東上りの小さな変化がみられました。

GNSS¹⁾による地殻変動と噴気活動に特段の変化はみられません。

2014年8月以降、火山活動の高まりがみられます。過去の活動期には、突発的な噴気孔の生成や、火

山ガスの噴出等の現象があったことから、登山等で火口に近づく際には十分注意してください。

吾妻山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

←12月12日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1(平常)から2(火口周辺規制)に引上げ

12日06時21分頃に継続時間が約35分の火山性微動が発生しました。浄土平(大穴火口の東南東約1km)の傾斜計では、火山性微動発生と同時に西(火口方向)上がりの変動がみられました。

以上のように、吾妻山の火山活動は活発化しており、今後、小規模な噴火が発生する可能性がある判断し、12日15時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1(平常)から2(火口周辺規制)に引き上げました。

火山性地震は、10月以降、やや多い状況で経過していましたが、12日の火山性微動発生の数日前から多い状況になっています。震源はこれまでと同様に大穴火口直下付近の浅い所と推定されます。

浄土平の火口カメラ(東北地方整備局設置)及び上野寺の遠望カメラでは、大穴火口とその付近の噴気の状況に異常は認められません。

GNSS¹⁾連続観測では、9月頃から一切経山南山腹観測点(大穴火口の北約500m)が関係する基線で緩やかな変化がみられており、大穴火口付近の浅いところの膨張を示唆している可能性が考えられます。

大穴火口から概ね500mの範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

草津白根山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

10日に群馬県の協力により上空からの観測を実施しました。赤外熱映像装置による観測では、湯釜火口内北側斜面、北側噴気地帯で、前回(2014年9月24日)の観測と比較して、高温領域の分布に特段の変化は認められませんでした。

3月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が、消長を繰り返しながら多い状態が続いていましたが、8月20日以降やや少ない状態で経過しています。地殻変動観測によると湯釜付近の膨張を示す変動が認められています。東京工業大学によると、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられています。また、全磁力観測による5月以降の湯釜近傍地下の温度上昇を示すと考えられる変化は、7月以降停滞しています。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側で火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や谷などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがありますので、注意してください。

御嶽山[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

遠望カメラ等による観測では、白色の噴煙が火口縁上100~300mの高さで経過しています。

山麓で実施した火山ガス観測では、今期間、観測結果は得られていませんが、二酸化硫黄の放出量はやや少ない状態が続いているものと考えられます。

火山性地震は少ない状態で経過していますが、8月以前の状況には戻っていません。

剣ヶ峰山頂の南東約3kmに設置している傾斜計では、9月27日の噴火発生の7分前から山側上りの変化がみられ、噴火とともに山側下がりとなるような変化が観測されました。その後も緩やかな山側下がりの変化が続いています。今期間、GNSS¹⁾連続観測では火山活動によるとみられる特段の変化は認められていませんが、国土地理院のGNSSデータの解析によると、長期的には9月上旬頃から御嶽山を挟む基線でごくわずかな伸びがみられ、また、9月下旬頃からごくわずかな縮みの傾向がみられ、12月までに9月上旬頃の基線長に戻っています。

御嶽山では、火山活動には低下傾向がみられるものの、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。また、噴気活動や地震活動等が活発化する場合には、火口周辺に大きな噴石を飛散させ、火砕流を伴うような噴火となる可能性があります。

火口から4km程度の範囲では大きな噴石の飛散や火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流の可能性がありますので注意してください。

白山[噴火予報(平常)]

16日01時32分頃に、山頂付近の深さ約3kmを震源とするマグニチュード3.4の地震が発生し、白山周辺の石川県白山市、福井県大野市、岐阜県高山市で震度1を観測しました。この地震の直後3時台にかけて地震が一時的に増加しましたが、その後、減少しています。低周波地震や火山性微動は観測されていません。

地震が一時的に増加する前の期間も含め、遠望カメラによる噴煙の状況等その他の観測データに特段の変化はみられず、噴火の兆候は認められません。

白山では、これまでも浅部を震源とする地震が一時的に増加することがあり、最近では、2013年1月31日から2月1日にかけて地震が一時的に増加しました。

三宅島[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013年2月以降はやや少量となっています。三宅村によると、山麓ではまれにやや高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

火山性地震は少ない状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

GNSS¹⁾ 連続観測によると、2000年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013年頃から停滞しています。島の長距離の基線で2006年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続しています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺(雄山環状線内側)では噴火に警戒してください。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに警戒してください。

西之島[火口周辺警報(入山危険)及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁等の観測によると、噴火及び溶岩の流出が継続し、新たに形成された陸地の拡大が確認されています。

25日に海上保安庁が実施した上空からの観測によると、第7火口では間欠的に溶岩片と共に灰色の噴煙を放出する噴火を繰り返していました。また、溶岩流は火口から北西及び北東側に流下し、先端は扇状に広がり海岸に達していました。新たな陸地の大きさは、東西方向に約1,710m、南北方向に約1,830m、面積は約2.29km²(前回10月16日:1.85km²)でした。また、第三管区海上保安本部が31日に行った上空からの観測でも、第7火口からの噴煙が確認されました。

西之島では、今後も噴火が続くおそれがありますので、西之島の中心から概ね6km以内の範囲では噴火に警戒してください。また、周辺海域では浮遊物に注意してください。

硫黄島[火口周辺警報(火口周辺危険)及び火山現象に関する海上警報]

硫黄島の海上自衛隊からの連絡によると、16日08時20分頃天山付近で数秒間、約10~15mの黒茶色の噴出が確認されました。一時的に噴出の勢いが強まり、泥を噴出したものと推定されます。黒茶色の噴出が確認された時間帯の地震活動に特段の変化は認められませんでした。

火山性地震の発生はやや少ない状態で経過しています。火山性微動は13回発生しましたが、その他の観測データに異常は認められませんでした。

GNSS¹⁾ 連続観測によると、地殻変動は2014年2月下旬頃から隆起の傾向、9月頃から停滞の傾向がみられていましたが、12月上旬頃から再び隆起の傾向です。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。このことから火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生している地点(ミリオンダラーホール(旧噴火口)等)及びその周辺では噴火に警戒してください。

福德岡ノ場[噴火警報(周辺海域)及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの上空からの観測によると、福德岡ノ場では長期にわたり火山活動によるとみられる変色水や浮遊物が確認されており、2010年2月3日には小規模な海底噴火が発生しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に警戒してください。

九重山[噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

25日に火山性地震が一時的に増加し、18回発生しました。火山性微動は観測されていません。九重山で1日あたり18回以上の火山性地震を観測したのは、2004年3月26日の32回以来です。

硫黄山付近の噴煙は白色で、高さは火口上300m以下で経過しました。

30日に実施した現地調査では、A領域下部から弱い噴気が上がっているのを確認しました。赤外熱映像装置による観測では、熱異常域が見られており、その分布に特段の変化は認められませんでした。

地殻変動観測では、GNSS連続観測の一部の基線でわずかな伸びの傾向が認められます。今後の火山活動の推移に注意してください。

阿蘇山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

中岳第一火口では、11月25日(期間外)から噴火活動が活発になり、断続的に噴火が発生しました。噴煙は12月31日に灰白色の噴煙が最高で火口縁上1,200mまで上がりました。12月9日夜間の噴火では、19時頃から21時頃にかけて強い風が吹き、小さな噴石が風に流されて、中岳第一火口の南西側約1km付近に落下するのを遠望カメラで確認しました。

10日に実施した現地調査では、中岳第一火口の南西側500m付近で最大約20cmの噴石、中岳第一火口の南西側の1.2km付近で、3～10cmの小さな噴石が落下していることを確認しました。19日、25日には、ストロンボリ式噴火を観測しました。

火山性微動の振幅は、大きい状態で継続しました。

中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。火口周辺では強風時に小さな噴石が1kmを超えて降るため、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石にも注意してください。

霧島山(新燃岳)[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

18日に海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て上空からの観測を実施しました。前回(2014年10月7日)の観測と比較して、火口内に蓄積された溶岩の形状に特段の変化は認められませんでした。新燃岳火口周辺域にも特段の変化は認められませんでした。赤外熱映像装置による観測では、前回と比較して熱異常域の分布に大きな変化はありませんでした。

GNSS¹⁾観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2011年12月以降鈍化・停滞していましたが、2013年12月頃から伸びの傾向がみられます。

新燃岳火口直下を震源とする地震は概ね少ない状態で経過しました。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性がありますので、新燃岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。降雨時には、泥流や土石流に注意してください。

霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)[火口周辺警報(火口周辺危険)]

硫黄山や韓国岳北側に噴気は認められませんでした。

えびの高原(硫黄山)周辺では、火山性地震が時々発生しています。

えびの高原の硫黄山から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降る恐れがあるため注意してください。

桜島[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

昭和火口では、爆発的噴火が32回発生するなど、活発な噴火活動が継続しました。

8日13時44分と11日18時52分の爆発的噴火では、大きな噴石が3合目(昭和火口より1,300～1,800m)まで達しました。噴煙の高さの最高は、31日03時24分の爆発的噴火による火口縁上3,000m以上でした。

南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。

18日に海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て実施した上空からの観測では、昭和火口から乳白色の噴煙が噴出しており、火口内の詳細については確認できませんでした。赤外熱映像装置による観測では、火口内には噴煙の噴出孔や堆積した噴出物に対応する熱異常域が認められました。火口周辺の状況に特段の変化は認められませんでした。また、南岳山頂火口は、火口内に白色噴煙が充満し、

火口内を観測することができませんでした。南岳山頂火口周辺の状況に特段の変化は認められませんでした。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

口永良部島[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

口永良部島では噴火は発生しませんでした。火山性地震が時々発生し、火山ガスも噴火前より多い状況で経過しており、引き続き、火山活動は高まった状態で経過しています。

14日に実施した現地調査では、引き続き新岳火口の西側割れ目付近および南西斜面で噴気を確認しました。赤外熱映像装置による観測では、新岳火口縁の西側、西側割れ目付近および南西斜面の噴気地帯で熱異常域を引き続き確認しました。

18日に海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て上空からの調査を実施しました。新岳火口の西側割れ目付近および南西斜面で噴気を確認しました。赤外熱映像装置による観測では、新岳火口の西側から南西側にかけての熱異常域の分布に特段の変化は認められませんでした。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。降雨時には土石流の可能性がありますので注意してください。

諏訪之瀬島[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

御岳火口では、爆発的噴火が5回発生したほか、噴火も時々発生しました。7日19時13分の爆発的噴火では、噴石が火口周辺1kmまでの範囲に飛散しました。噴火に伴う灰白色の噴煙が最高で、火口縁上1,000mまで上がりました。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、集落（御岳の南南西約4km）では降灰は確認されませんでした。

18日に海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て上空からの観測を実施しました。御岳火口及び火口周辺の地形等に特段の変化は認められませんでした。また、赤外熱映像装置による観測では、御岳火口内及び火口周辺に熱異常域を観測しました。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

（火山の順は活火山総覧（第4版）による）

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（平成 27 年 1 月 13 日現在）

（１）主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2008年 9 月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 4 月10日噴火予報（レベル 1、平常）
	大雪山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常）
	十勝岳	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル 1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2008年 6 月 9 日噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2013年 7 月25日噴火予報（レベル 1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル 1、平常）
	鳥海山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常）
	吾妻山	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2009年 3 月31日噴火予報（レベル 1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2009年 3 月31日噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2009年 3 月31日噴火予報（レベル 1、平常）
	日光白根山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常）
	草津白根山	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常） 2009年 4 月10日噴火予報（レベル 1、平常）切替 2014年 6 月 3 日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	浅間山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常） 2008年 8 月 8 日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 2 月 1 日火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009年 2 月 3 日火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2009年 4 月 7 日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010年 4 月15日噴火予報（レベル 1、平常）
	新潟焼山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2011年 3 月31日噴火予報（レベル 1、平常）
	焼岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2011年 3 月31日噴火予報（レベル 1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常）
	御嶽山	火口周辺警報 （レベル 3、入山規制）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2008年 3 月31日噴火予報（レベル 1、平常） 2014年 9 月27日火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2014年 9 月28日火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替
	白山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2009年３月31日噴火予報（レベル１、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常） 2011年３月31日 噴火予報（レベル１、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常）
	新島	噴火予報（平常）	2007年12月１日噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（平常）	2007年12月１日噴火予報（平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年３月31日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月１日噴火予報（平常）
	青ヶ島	噴火予報（平常）	2007年12月１日噴火予報（平常）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年６月３日火口周辺警報（入山危険） 2014年６月11日火口周辺警報（入山危険）切替
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月１日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月１日噴火警報（周辺海域警戒）
	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（平常）	2007年12月１日噴火予報（平常）
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常）
	阿蘇山	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常） 2011年５月16日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2011年６月20日噴火予報（レベル１、平常） 2013年９月25日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル１、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2014年３月12日噴火予報（レベル１、平常） 2014年８月30日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	雲仙岳	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常） 2008年８月22日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル１、平常） 2010年３月30日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2010年４月16日噴火予報（レベル１、平常） 2010年５月６日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2011年１月26日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2011年１月31日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2011年２月１日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2011年３月22日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2012年６月26日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険）
	桜島	火口周辺警報 （レベル３、入山規制）	2007年12月１日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年２月３日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年２月20日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年４月８日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年７月14日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年７月28日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年８月28日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年２月２日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年２月19日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年３月２日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年３月10日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2009年４月24日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年７月19日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2010年９月30日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2012年３月12日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2012年３月21日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替

	火山名	特別警報、警報及び 予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	薩摩硫黄島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常）
	口永良部島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）警報及び予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

（2）その他の活火山

以下の活火山（＊印を除く）では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、＊印の活火山では、活火山として選定された平成23年6月7日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山＊、摩周、雄阿寒岳＊、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカシダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山